

東京都がん対策推進計画の見直しに関する都民及び患者の意識調査について

調査概要

- ①目的
東京都がん対策推進計画の見直しにあたり、現計画の評価を行うため、都民及びがん患者の現状への認識及び将来への要望を把握する。
- ②調査対象
一般都民4,273名
がん患者3,500名 ((拠点20+認定14+国がん)×100)
- ③検討結果の報告
調査結果については、東京都がん対策推進協議会に報告し、次期「東京都がん対策推進計画(平成25年度から5年間)」に盛り込む。

調査形式及び結果(概要)

調査形式

調査区分	調査内容
都民向け調査	<ul style="list-style-type: none"> ○がんに関する一般都民の認識度の把握 ○次期がん対策に生かせる要望の把握 ⇒調査会社モニターに登録の都民に対して実施 インターネット調査
患者向け調査	<ul style="list-style-type: none"> ○がん医療対策施策に関する評価指数としての患者満足度把握 ○次期計画に反映する為に、患者・家族のニーズの把握 ○がん医療施策に関する認識度の把握 ⇒拠点・認定・国がんにて調査対象の選出等を依頼 施設側から回答票の手渡し・回収を基本とし、一部郵送にて回収。

結果(概要)

- 都民向け調査
実施期間:平成24年2月2日～2月10日
回答者数:2,310人(回収率54.1%)
対象者 :18歳から91歳
- 患者向け調査
実施期間:平成24年1月16日～2月3日
回答者数:2,726人(回収率77.9%)
対象者 :入院1,219人、外来1,458人、無回答49人
男性1,329人、女性1,335人、無回答62人

調査項目

基本項目

- 回答者の属性(患者・家族・都民、年代、住環境、がん患者歴、部位、性別等)

医療提供体制に関する項目(主として患者・家族向け)

- 拠点・認定制度の認知度について
- 東京都医療連携手帳の認知度・利用度
- 放射線療法の受療状況とインフォームド・コンセント
- 化学療法の受療状況とインフォームド・コンセント

相談・支援体制に関する項目(主として患者・家族向け)

- 不安の有無とその内容(特に診療開始時)
- 相談経験の有無とその相談先
- 相談支援センターの存在に関する認識
- ピアカウンセリングの存在に関する認識の有無
- 患者団体との交流の希望の有無
- 診療等の情報の入手元について

緩和ケアに関する項目(主として患者・家族向け)

- 「緩和ケア」に関する認識度(定義を与えた上でその正確な意味を認識していたか)
- 緩和ケアの受療状況(疼痛管理、肉体的ケア、精神的ケア、全人的ケア)
- 在宅緩和ケアの受療経験の有無と今後の受療希望の有無
- 緩和ケアに関するニーズの把握

予防・検診・がん登録(主として都民向け)

- 検診の受診動向(受診の有無、受診の希望の有無、受診に関する問題点等)
- がんに対する一般的な意識(どういった捉え方をしているか)
- がん対策の諸施策に関する認識度
- がん登録に関する認識度(普及啓発への検討も含めて。)